

『クリエイティブなKDUキャンパスへようこそ』

神戸芸術工科大学 学長 齊木 崇人

入学おめでとうございます。教員104名と職員69名、そして在学生1,177名が、あなたたち新入生約380名の入学を心から歓迎します。そして、キャンパスの緑と桜もあなたたちを迎えてます。

今年も桜の季節になりましたが、今年は特別です。なぜならば、今年の早春、前学長の土肥博至先生が、あなたたちを迎えるために、27本と1本の桜を植えられました。27本は、あなたたちが在学中に楽しむことのできるソメイヨシノ（学名：Prunus）の桜ですが、もう一本は、樹齢50年のオオヤマザクラ（学名：Prunus sargentii）です。土肥先生自ら皆さんのために日本中に手配され、3本発見されました。その1本だけが移植可能な高さ8mのオオヤマザクラでした。ソメイヨシノの27本は扇型広場の周囲に植えられ、今花が咲いていますが、寿命は約30年から60年と言われています。一方、オオヤマザクラの寿命は200年から300年、樹高は20メートルから30メートルの巨木に成長すると言われています。

私たちには、今を楽しむソメイヨシノも大切ですが、オオヤマザクラも大切です。なぜならば、開学20周年を迎えようとしている今、200年から300年の寿命があるオオヤマザクラは、人間の寿命をはるかに超えて、神戸芸術工科大学を見つづけてくれる存在だからです。このオオヤマザクラの中には、あなたたち新入生を迎える、私たち教職員の気持ちが生きています。

ゆっくり生長して欲しい、長く生きて欲しい。1本の命でも堂々と遠い将来に目標を持ち、こつこつと努力して欲しい、と願う心です。

神戸芸術工科大学は、デザインとアートの大学です。「人間と歴史」を基礎に、「科学と技術」「芸術と文化」を融合させて、人類を幸せにするためのアートやデザインを生み出す大学です。

しかし、アートやデザインを職能とする人々は、世の中の1%と言われています。確かに、少数派と言ってよいでしょう。あなた方が学んだ高校でも、デザインやアートを志望する人はクラスに1人か2人だったと思います。

私は、この少数の1%の人たちを、世の中に役立つ質の高いアーティストやデザイナーに育てる大学でありたいと思っているのです。

このオオヤマザクラに象徴されるように、1人でも存在感があり、世のためになる、時代を超えて求められるデザイナーやアーティストの誕生を夢見ているのです。

もう一方のソメイヨシノを見てみましょう。早く生長する桜、ソメイヨシノはどちらかというと、どこにでもあり、没個性的です。しかし、仲間で「群」になると、一つの大きな力を持ち、存在を主張し、人々を魅了します。また、寿命は約60年と短いようですが、日本の 桜の名所では、老木の間に次々と若木を植えて、世代を連続させています。

1本でも長く生きつづけるオオヤマザクラ、没個性的であるが群となって美しく咲くソメイヨシノ。あなたはどうぞ好きですか。この問いかけを、皆さんを迎える祝辞とします。

大学院生は2年から長くて5年間、学部生は4年間、このキャンパスで生活します。毎年春になると、この2種類の桜の前に立ち、自らの生き方を映してみて下さい。そして、自らを客観的に捉え、時代の動きに合わせ柔軟性のある行動ができる大人になって欲しいと思います。そして、あなたの「新しい桜」を生み出して下さい。

入学したばかりの皆さんに、卒業後の遠い将来を求めましたが、大学は社会への入口なのです。大学入学の日からあなたたちの社会への挑戦の第一歩が始まりました。

神戸芸術工科大学では朝、皆があいさつをします。このあいさつがキャンパスのクリエイティブなコミュニティを創っていきます。あなたたちも出会った仲間にあいさつすることになります。

最後にもう一度、あなたたちを、新しい家族としてそして楽しいコミュニティ「KDUファミリー」に歓迎し、祝いの言葉とします。

建学の理念

本学の設置母体である、学校法人谷岡学園は「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とし、それを(1)思いやりと礼節(2)基礎的実学(3)柔軟な思考力(4)楽しい生き方、と解釈しています。

すなわち、まず人物的に優れ、社会で必要な知識・技能・資格を備え、かつそれを活用し得る広い視野・適応力・創造性をもつ。そして、何事にもプラス思考で取組み、楽しい充実した生活を送ることのできる人材の養成を使命としています。

こうした目標を基本におきながら、「神戸芸術工科大学」は、近代社会で長らく分断されてきた「芸術」と「技術（工学）」の高度な融合を図ることにより、これからの社会が必要とする、「総合力をもったデザイナーやアーティスト」を世に送り出すことを建学の理念としています。

Content

- 齊木学長挨拶／建学の理念
- 20周年記念事業／社会貢献活動
- カオス2008卒展
- クラブ紹介／国際交流
- キャリアだより／卒業生の活躍
- 大学からのお知らせ
- 谷岡奨学金／寄附金御礼／教育懇談会
- KDU-Net交流会／マナーキャンペーン

神戸芸術工科大学開学20周年記念事業によせて

20周年事業準備ワーキング 代表 藤本 修三
(先端芸術学部長)

本学は平成元年に設立され、平成5年に大学院、平成18年にはメディア表現学科と造形表現学科からなる先端芸術学部が設置され2学部6学科の大学になりました。この歩みを更に充実発展させるべく、平成20年には新たにクリエイティブセンターが完成しました。これらの歩みを学内外に披露するとともに記録に留め、本学の更なる飛躍を祈念してこの事業を執り行う次第です。

記念事業の内容といましましては祝賀会、記念誌発行、キャンパスのサイン計画、KDU-Net、教育後援会との連携等々を考えています。平成20年11月15日(土)には開学20周年記念式典といましまして吉武記念ホールにて内外関係者をご招待しての祝賀会を開催いたします。その第1部として本学名誉教授の杉浦康平先生による特別講演会を予定しています。第2部は卒業生を中心に「いってらしゃい」の逆バージョンパーティー「おかえりなさい」を体育館にて開催いたします。本学OBは声を掛け合っての参加を期待しています。

更に大きな事業として開学以来の教育研究のみならず、本学の設立理念を考察し、更なる飛躍につながるヴィジョンを構築するための記念誌を作成発行いたします。

また、新校舎も出来、以前にも増してキャンパス内が複雑化し、学外からのお客様を迎えるにふさわしいサイン計画の必要性をも考えています。

そしてKDU-Netのホームページの早期立ち上げをベースに情報を共有し得る同窓会組織との連携を重要視して考えています。

その他20周年記念に関連した催し物など多数企画しています。

その一つといましまして在校生からのコンペで入選した20周年記念ロゴマークをここに紹介し、この事業の成功を祈念します。

平成20年11月15日(土) 卒業生全員集合!



ロゴマークは 05V 片桐麻里絵さんの作品です

ビジュアルデザイン学科の学生 『神戸新聞』創刊110周年で新ロゴをデザイン!



兵庫県の郷土紙である神戸新聞が、今年、創刊110周年を迎えました。その110周年記念事業として、各種イベントやホームページで使用する新しいロゴタイプ（書体）とロゴマークを本学で制作することになり、ビジュアルデザイン学科に依頼がありました。

学部生や大学院生20名余がデザイン制作に取り組み、選抜と修整を繰り返して、最終的なロゴタイプとロゴマークが決まりました。

ロゴタイプは、同学科4年 澄田好美さんがデザイン。存在感を感じさせる、しっかりとした字体です。ロゴマークは、同学科4年 重里邦太さんがデザイン。港で親しまれているカモメをモチーフに、翼は新聞を広げた形と神戸新聞の頭文字「K」を表現しています。

同紙創刊110周年の節目である2008年2月11日に新聞紙上等で発表され、今後、県内各地やサンテレビの画面上など、多くの場所で目にすることになります。

力オス2008 神戸芸術工科大学卒展[学部・大学院]

ここでは学長賞を受賞されたみなさんの紹介します。

視覚情報デザイン学科（現ビジュアルデザイン学科）

「少年ソーガ」第3号(児童向け漫画雑誌「少年ソーガ」の制作)

松本 優典、上村 孝人

この度は学長賞という名誉な賞を頂き、とても嬉しく思っています。「少年ソーガ」は、過去に2回、創作サークル「創画館」にて発行された漫画雑誌で、今回の卒業研究にあたって、対象を小学生に絞り、よりクオリティアップを図って制作したのが「少年ソーガ3号」です。

テーマを「夢と希望と笑い」と定め、いつまでも枕元に置いておきたいと思ってもらえる様な雑誌を目指し、制作に取り組みました。子供達が何に興味を持つのか、何に共感するのかを考えながら制作しました。完成後、神戸諏訪山児童館の子供達に130部配布しました。

本作品は、決して2人では完成しなかったと思います。漫画を執筆してくれた漫画家の皆様、指導をして頂いた先生方、制作を手伝ってくれた先輩・友人、神戸諏訪山児童館の皆様に、この場を借りてお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございます。



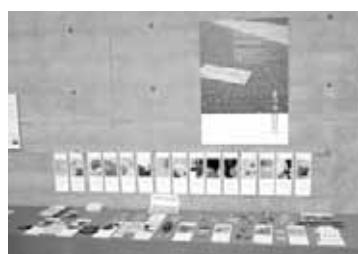
プロダクトデザイン学科

きつぶ【切符】

樋口 智行

我々は切符をとりたてて意識することなく駅から駅を移動します。さらに存在の薄さ故に、取り忘れるなどの失態を犯します。きっと人にとって切符なんてどうでもいいモノなのかもしれません。そんなうでもいいモノが、ある日ちょっとした微笑みをプレゼントしてくれたなら…きっと、我々の生活は少しだけしあわせになるのでしょうか。そんな想いを込めた切符たちの提案です。

このようなすばらしい賞を頂けたのも、回りの方の助けがあったからこそ賞だと思っています。真剣ゼミのお前等、相良ゼミの全員、伊川谷在住の下宿野郎共、ダクトのみんな、ダクトの先生みなさん、工房・Cラボ・図書館・購買の方々、学校のスタッフのみなさん、今まで教育してくれた先生たち、深澤直人、原研哉、佐藤卓、AXIS、バイトの人、恋人、家族、みんなありがとうございます！！これからも感謝の気持ちを忘れず、デザイン活動に励みたいと思います。」



大学院芸術工学研究科 総合デザイン専攻

紙立やまたに動物園（紙の色や質感を活かしたペーパークラフト玩具の制作）

和田 恭侑

紙がもつ色や質感、モデルのアリアリティ、動くパーツ、組み立て易さなど、ペーパークラフト玩具の可能性を追求した作品です。動物の毛や肌の質感に合わせた紙を使用した全6種類のリアルな動物のペーパーモデルを組み立てることができます。遊びながら「ものづくりの楽しさ」や「紙の不思議」、「動物の魅力」を学ぶことができるペーパークラフトブックとなっています。

学長賞をいただいたことは大変嬉しく光榮なことです。それ以上にこの学校で自分の作りたい物が表現できたこと、一生懸けてやりたいことが見つけられたことが自分にとって一番価値のあることだと考えています。これからもクリエイティブな気持ちを忘れず活動していきたいと思います。

■ホームページ「injan(いんじゃん)」<http://www.injan.net>

ファッションデザイン学科

「花の記憶」(四角形の縮緼ニットで構築される衣服の可能性を求めて)

大森 沙和子

ニットは、1本の糸でループをつくり、絡み合い、広がっていくものです。したがって、一か所でも切り込みが入ると、ほつれてしまいます。こうしたニットの特徴をふまえたうえで、切ってもほつれないニット素材を研究しました。



自分で撮影した花の写真をもとに模様をつくり、コンピュータジャカード横編機でパイル編と平編を編み出し、縮緼させました。その縮緼から生まれた、独特の凹凸感や重量感、切り込みを入れられるという素材のおもしろさを、衣服のかたちで表現しました。

制作を通して、松本先生、重本先生をはじめ、多くの先生方からご指導をいただきました。本当にありがとうございました。また、一度就職した会社を辞めて、大学でファッションを学ぶという選択を応援してくれた両親、大学生活の支えとなった友人たちに感謝したいと思います。

環境デザイン学科
(現環境・建築デザイン学科)

OMA研究(論文)

森 祐介

論文『OMA研究』は僕の中で大きなターニングポイントだったと今になって感じています。それは担当の教授に言われた3つの言葉によつてもたらされた結果でした。

ひとつめの言葉は「自分にしかわからないことを、誰にでもわかる言葉で表記する」、ふたつめは「本は借りるのではなく買う」、みつめは「製本した時に“立つ”枚数の論文」でした。これらの言葉に従い、僕はアルバイトをしながら合計20万円ほどの本を買いました。そして結果的には230ページ、厚さにして3センチほどの論文を書き上げました。文章も自分にしかわからないことを誰にでもわかる言葉で書いたつもりです。この論文は内外から良い評価を受けました。

最後にこれから制作にとりかかる在校生にひとこと。「やらなきゃいけないことをやるだけさ。だからうまくいくんだよ」(みうらじゅん『アイデンティティ』1997、角川書店)。自分がやらないでいいことを精一杯やってください。そして、批判的な意見を受け止め、制作に反映させてください。これが、僕が大学で学んだことです。僕もがんばります。



クラブに入ろう!

新入生のみんな！ 大学生になってどんな感じですか？ 芸工大に入ったら、勉強もいいけど、クラブに入って、いろんな学科の友達を作ろう！ クラブだけじゃなく、大学祭実行委員会やアルバム委員会、そしてイベント企画やクラブ活動の支援、学校を良くしていくための組織、「学生フォーラム委員会」もあるので、いろいろ経験できるよ（by 学生フォーラム委員会）

クラブ紹介

体育会クラブ

バスケットボール部／水泳部／軟式野球部／OLIVE(サッカーチーム)

文化会クラブ

吹奏楽部／ソーラーカー部／写真部

サークル

スキーサークル／バレーサークル／グリーンキャタピラ(テニスサークル)／D&Pダンスサークル／oton(軽音サークル)／創画館／陶芸サークル／RIVERS(旅行サークル)／アコースティックサークル／K・B・B(バスケサークル)

申請中サークルは4月8日学生フォーラム総会で配布する2008年クラブパンフレットを見て下さい



KOBE DESIGN UNIVERSITY SWIMMING TEAM

神戸芸術工科大学体育会水泳部は、隣の神戸市外国語大学水泳部のみなさんと一緒に活動しています。「オレンジデーズみたいな、キラキラなキャンパスライフを送りたい」、「のだめカンタービレみたいな仲間が欲しい」、「引き締まった体を手に入れたい」そんな希望を持っている人には、自信をもって水泳部をおススメします。

モットーは「泳ぐときは泳ぐ！ 遊ぶときは遊ぶ！」この言葉通り、大学生活をアツく、楽しく、濃いものになること間違いなし！

経験者、初心者、選手、マネージャー問わず大募集中です。 （主将：堀田明生）

国際交流だより ~海外大学との交流~

本学はイギリスのウェストミンスター大、中国の北京理工大、韓国の東西大及び台湾の国立雲林科技大、同じく台湾の国立台湾芸術大と「学生交換協定」を締結し、毎年1名ずつの学生交換を行っています。

単なる語学留学ではなく、それぞれの大学においてデザイン関連の授業を受講することができます。

交換留学生の募集についての説明会は4月のオリエンテーションのほか、12月、1月にも行いますので興味のある学生のみなさんは、説明会に参加してください。

ウェストミンスター大学

イギリスのロンドン市内を中心に4つのキャンパスがあり、デザイン、映画、写真、メディア、ビジュアル、アート等をはじめとする学部を持っており、学生数約20,000人の総合大学です。



北京理工大学

北京オリンピックの舞台となる北京市内に所在する、1940年創立の国家重点大学です。広大なキャンパスには、デザイン学部をはじめとする11の学部を擁する、学生数約17,000人の理工系大学です。

東西大学校

韓国の第二の都市、釜山に位置する1992年に設立された大学で、デザイン学部をはじめとする国際関係、社会福祉、外国語等の学部を持つ総合大学です。

また韓国内での評価も高く、デザイン分野及び教養分野において韓国内の大学において10位圏内に入っています。

国立雲林科技大学

台湾の雲林県にあり、デザイン系としては台湾国内でもトップとの評価があります。研究・学習環境もよく整備されております。学科・専攻の構成が本学と近く、工業デザイン学科、視覚伝達デザイン学科、空間デザイン学科、デジタルメディアデザイン学科、コンピュータ計算研究科、生活文化デザイン学科の組織のある大学です。

国立台湾芸術大学

台湾の芸術大学では最高の伝統と格式を持ち、同時にチャレンジ精神も旺盛な大学です。日本でいえば東京芸大のような存在で、50年以上の歴史をもつ美術系では台湾最古で最高の大学です。 伝播学院（本学でのメディア表現学科に近い）、美術学院（アート系）、パフォーミング学院（芸能系）、デザイン学院（本学のプロダクト、ビジュアル学科に近い）、人文学院（芸術論系）などの学科があります。



キャリアセンターについて ~いいことあるゾ！ キャリアセンター～

キャリアセンターでは、全学年対象に就職・進学・創作活動など進路全般についての業務をおこなっています。開室時間等は下記のとおりです。みなさんの来室をお待ちしております。

場 所：本館1F 開室時間：平 日 9:00～18:00
土曜日 9:00～17:00



キャリアセンター入口
(本館1階にあります)



入室簿
(入室時には必ず
学籍番号を記入してね)



キャリアセンター室内
(新聞・雑誌等設置しています)



キャリアセンター室内
(資料も充実しています)

※キャリアセンターには下記の資料等を備えています。

- ①求人票：企業から送られてきた求人票・会社案内等を企業別にファイルしています。
- ②就職試験報告書：先輩が企業を受験した際の報告書（選考日程・方法等記載）があります。
- ③ポートフォリオ：先輩が作成したポートフォリオがあります。
- ④新聞・雑誌：日本経済新聞、日経産業新聞、日本織維新聞、日経流通新聞、就職ジャーナルなどがあります



■ キャリアコラム(vol.2)

～継続は力なり～

90点をとっても不採用の場合もありますし、60点で採用される場合もあります。

大事なのは、常に自分のスキルを磨いておくという姿勢だと思います。みなさんの先輩で、3年生の1月から就職活動をはじめて20社位、ずっと不採用が続いた方がいました。しかし、その先輩は就職活動を継続して、エントリーシート・ポートフォリオの内容を改善していました。そして、4年生の9月には希望する会社の内定を獲得されたのです。先輩の喜びはそれまで頑張ってきた努力の分に比例して大きなものになりました（サポートしていた私も嬉しかったです）。

「継続は力なり」・・・深い言葉です。

「継続は力なり」

昔から言われている言葉ですが、就職活動をするにあたっては、とても大切な言葉です。企業が採用の内定を決定するのは、絶対評価ではなく相対評価の場合が多くなります。つまり、他者との比較で決定されるので、



03P卒業生「バカラボ2007」本選に進出!

「笑い」をテーマにした世界初のロボットコンテスト「バカラボ2007」（吉本興業主催）が、東京・新宿のルミネtheよしもとで開催されました。バカラボは「メカニックであること」「役にたたないこと」「人を笑わせること」という「バカラボ三原則」を満たすロボットです。

プロダクトデザイン学科を2006年度卒業の荒川真之さんの二足歩行萌え系メイドロボ『美影』が厳しい選考を突破し本選に進出しました。このメイドロボは、荒川さんの卒業制作作品もあります。

8組で競われた公開審査で、荒川さんのメイドロボは、工学系ロボットが置き去りにしやすい「見た目のデザイン」を探求したロボット。容姿をリアルにすることで露呈する「不気味の谷」という状態を、「萌え」で回避するという先端技術とおたくが融合したハイレベルな独自の理論を持つと評価を得ました。

このコンテストの特集が、学研『大人の科学マガジンvol.18』に掲載されています。



谷岡奨学生受賞者決まる

谷岡奨学生は、本学の設置母体である学校法人谷岡学園による奨学生で、文化・芸術・スポーツ・社会活動の各分野の活動において本大学の名を著しく高め、その分野での将来の活躍が期待される人に助成されます。

今年度は本学より4名（組）の方が、奨学生として決定を受け、去る3月25日、東大阪市の学園本部において贈呈式が行われました。

谷岡奨学生 奥平桂子さん、西山広志さん（大学院総合デザイン専攻）

第42回セントラル硝子国際建築設計競技 入選

札場靖明さん（ビジュアルデザイン学科）

神戸ビエンナーレ2007 ポスターコンペ 大賞

高橋 舞さん（ファッショングループデザイン学科）

第39回毎日・DAS学生デザイン賞 服飾部門賞

谷岡奨学生（理事長特別賞）

花畠江梨さん（ファッショングループデザイン学科）

神戸ファッションコンテスト2007特選



◆ 寄附金の御礼

平成19年度「神戸芸術工科大学教育研究環境整備資金」募集事業におきましては、募集の趣旨をご理解いただき、ご父母の皆様を初め、卒業生、教職員の方々より、多大なるご協力を賜りましたことを心より厚くお礼申し上げます。

この貴重な資金は、教育研究環境整備（学内共同利用施設の建築、各学科棟のリニューアル工事）並びに福利厚生の充実（厚生館増築）の事業実施に活用させていただきました。

また、今年は開学20周年を迎えます。更なる教育環境整備の向上を目指し、教職員一同なお一層の努力を重ね、教育・研究活動の充実を図ってまいりますので、今後ともご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

◆ マナーを守ることで気持ちよいキャンパスライフを

ゴミや吸殻のポイ捨てをしない、指定場所での喫煙、駐輪場での自転車・単車の整頓など、マナーを守ることは、他の人にも不快感を与えません。お互いが気持ちよくキャンパスライフを送るため、一人ひとりが気をつけてください。

大学では、学生フォーラムと共同で、クリーンキャンペーンを定期的に実施し、学生のみなさんへマナーUPを訴えていきますので、協力をお願いします。

◆ 保護者のみなさんへ

教育懇談会の開催について

保護者の方からの大学に対するご質問・相談をお受けする「教育懇談会（春季）」を今年度も教育後援会との共催で、下記の日程で開催します。（詳しいご案内については4月下旬に発送いたします）

5月24日（土）岡山 5月25日（日）広島 6月1日（日）高松
6月15日（日）福岡 6月29日（日）本学

◆ 今春卒業生が「第34回神戸ファッションコンテスト」で特選を受賞!
イギリス留学決定!



去る3月15日（土）、神戸ファッション美術館オルビスホール（神戸市東灘区）で開催された「第34回神戸ファッションコンテスト」で、ファッションデザイン学科を3月に卒業された、花畠江梨さんが特選を受賞しました。花畠さんは、副賞として希望していたイギリスのノッティンガム芸術大学への1年間の留学資格を手にしました。

今回の最終審査会は、全国から応募のあった257人の中から第一次審査を通過した24人が出品し、ポートフォリオを用いたプレゼンテーションとモデルが着用してのファッションショー形式での審査が行われました。作品は、裁断した生地を縫製して作る従来の衣服製作の技法に依らずに、ニードルパンチという技法を用いてフェルトを貼り合わせて作り上げた作品。幾何学的なミニマルなフォルムとともに、新しい服作りの可能性を示したもので、審査委員の方からも「新しい技法による服作り」と評価されました。

また、最終審査会に出品した24名の中には、2002年度に本学を卒業した石川智理さんもノミネートされていました。

KDU-Netだより

本学の同窓会組織である「KDU-Net」では19年度事業として卒業生交流会を神戸（2月17日／於：兵庫県立美術館）と東京（2月24日／於：東京・恵比寿）で開催しました。

東京会場は、初開催でしたが80余名の卒業生、鈴木成文元学長、林久美雄名誉教授をはじめとする教職員の参加があり、大盛況のうちに終了しました。

卒業生交流会を設けたことで、友人との交流、新たなビジネスチャンスを開拓してもらえるきっかけとてもらえれば幸いです。

KDU-Netでは、卒業生交流会を定例化していく考えですので、今回、参加できなかった方も、次回はぜひお越しください。

KDU-Net会長 馬場勝巳

